

# 高まる水防再構築論

本朝北地方に大きな豪雨を降らせた。豪雨は、戦後半世紀を経て、河川でも治水対策が万全でない現状を露骨に示した。専門家は総合的な水防対策の再構築が必要だと指摘している。

200年に一度の豪雨に備った大先には、堤防が一気にやぶれた。大きな被害を出した。大きな被害を出した。大きな被害を出した。

豪雨を降らせた。豪雨は、戦後半世紀を経て、河川でも治水対策が万全でない現状を露骨に示した。専門家は総合的な水防対策の再構築が必要だと指摘している。

200年に一度の豪雨に備った大先には、堤防が一気にやぶれた。大きな被害を出した。大きな被害を出した。大きな被害を出した。

このように、水防の建設や治水対策の重要性が再認識されている。水防の重要性が再認識されている。水防の重要性が再認識されている。

水防の重要性が再認識されている。水防の重要性が再認識されている。水防の重要性が再認識されている。

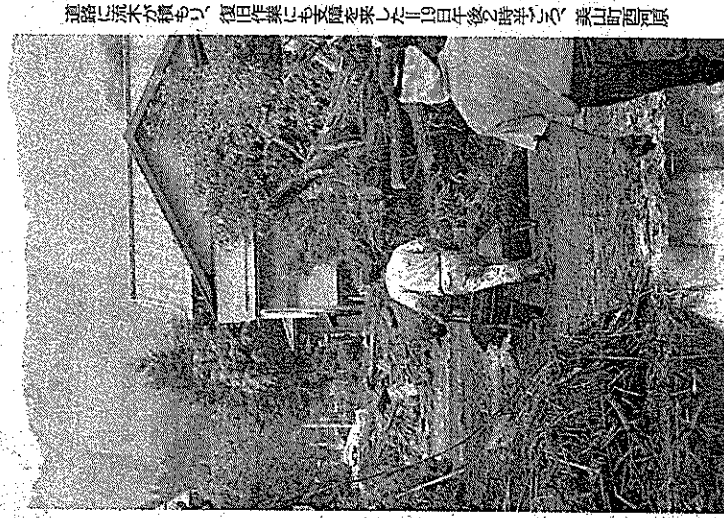
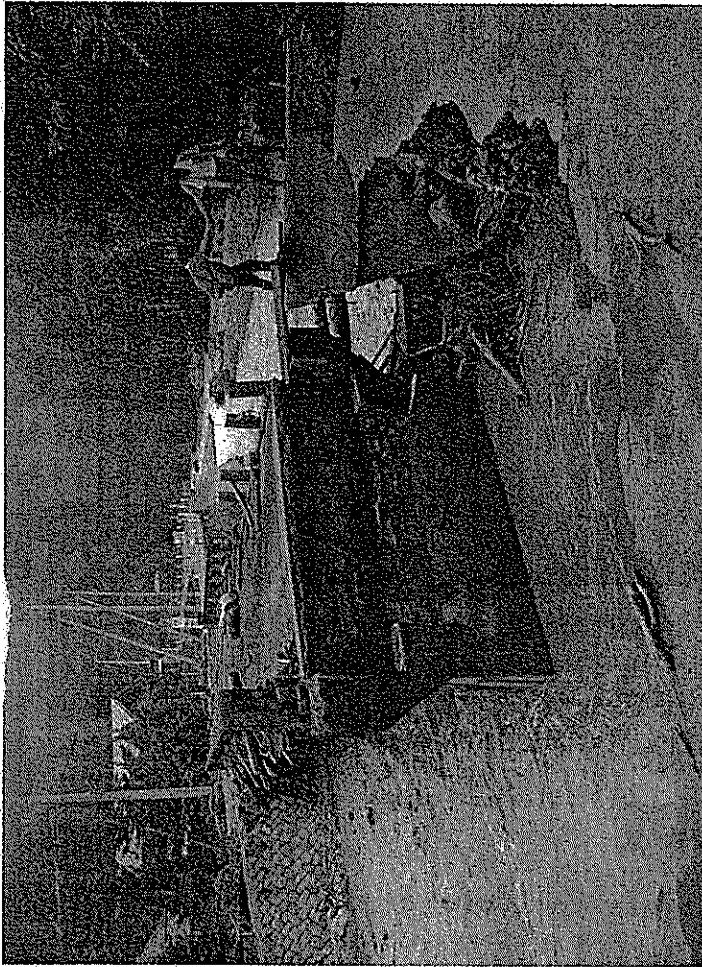
## 都市構造適合め対策必要

都市構造が治水対策に適合しているかどうかを調べる必要がある。都市構造が治水対策に適合しているかどうかを調べる必要がある。

都市構造が治水対策に適合しているかどうかを調べる必要がある。都市構造が治水対策に適合しているかどうかを調べる必要がある。

都市構造が治水対策に適合しているかどうかを調べる必要がある。都市構造が治水対策に適合しているかどうかを調べる必要がある。

都市構造が治水対策に適合しているかどうかを調べる必要がある。都市構造が治水対策に適合しているかどうかを調べる必要がある。



## 甚大被害に不安募る住民 いら立ち隠せず

甚大被害に不安募る住民 いら立ち隠せず。甚大被害に不安募る住民 いら立ち隠せず。甚大被害に不安募る住民 いら立ち隠せず。

甚大被害に不安募る住民 いら立ち隠せず。甚大被害に不安募る住民 いら立ち隠せず。甚大被害に不安募る住民 いら立ち隠せず。

福井市一乗地区や美山、池田町の一部は孤立した。一夜けた十九日、電気、水道、電話などのライフラインは寸断され、住民は孤立した。

一夜けた十九日、電気、水道、電話などのライフラインは寸断され、住民は孤立した。一夜けた十九日、電気、水道、電話などのライフラインは寸断され、住民は孤立した。

### 福井・一乗、美山、池田

# 「食料、水、電気早く」

食料、水、電気早く。食料、水、電気早く。食料、水、電気早く。

池田町、池田地区。池田町、池田地区。池田町、池田地区。

# 九頭竜川濁り地下水低下

九頭竜川は、濁りが増え、地下水も低下している。浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。

# 水の供給網渡り

浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。

# 皮肉な現象

浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。



浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。浄化センターでは、浄化処理が追いつかなくなっている。

# 石を打て!

福井豪雨。苦渋の決断。倒木恐れ桜8本撤去。福井フエニックスまつり被災者に配慮中止。

# 不死鳥の町

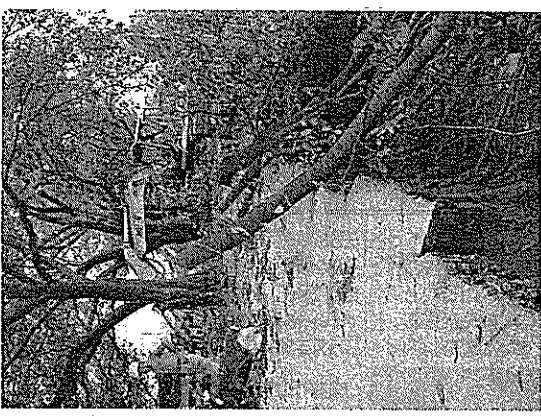
決死の覚悟。自前ボートで10人救助。吉田さん親子「放っておけない」。

# 福井豪雨

苦渋の決断。倒木恐れ桜8本撤去。福井フエニックスまつり被災者に配慮中止。

福井豪雨。苦渋の決断。倒木恐れ桜8本撤去。福井フエニックスまつり被災者に配慮中止。

# 倒木恐れ桜8本撤去



倒木の恐れがあるため、福井市木田橋付近の桜8本を撤去した。

福井フエニックスまつり被災者に配慮中止。福井フエニックスまつり被災者に配慮中止。

# 福井フエニックスまつり

被災者に配慮中止。福井フエニックスまつり被災者に配慮中止。

# 自前ボートで10人救助

吉田さん親子「放っておけない」。

決死の覚悟。自前ボートで10人救助。吉田さん親子「放っておけない」。

# 梅雨前線が去り



力を合わせてコンクリートの塊を持ち上げる高校生  
 美山町西川原で

# 戻り始めた笑顔

## 福井豪雨

豪雨をもたらした前線が去り、福井県を含む北陸地方が梅雨明けした22日、大きな被害が出た美山町内では、道路の仮復旧が進み孤立地域はほとんどなくなった。被災地には高校生を含む多数の災害ボランティアが入り、住民とともに泥かきやごみの搬出に当たった。電気や水道の復旧も進み、住民に笑顔も戻り始めた。【日野行介】

## ライフライン復旧進む

美山に  
高校生ら 900人がボランティア

同日は県内の高校生、大学生を含む約900人がボランティアに参加。孤立状態が続いていた下味見地区を中心に、町に救援要請があった約70軒に向かった。

同地区では上流から濁流と共にたれ込んだ流木で1階部分が壊れた住宅が目立つ。住民とボランティアは流木や冠水した家具を運び出し、高く

積もった汚泥をすくい出した。梅雨明けで晴天となり、砂ぼこりが舞う状態のため、マスクをつけ

た住民が多かった。ボランティアに参加した県立三高高2年の本多浩さん(17)は「家が壊れ、泥が建物の中に入っていて驚いた。砂ぼこりが目には対応を急いでいる。」

## 農水副大臣が県北部視察

農林水産省の市川一朗副大臣が22日、豪雨被害のあった福井県北部の被災地を訪れ、農業被害の実情を視察した。

入って痛かったけど、来て良かった」と充実の表情。

一方、ライフラインは同日段階で電気が100%、上水道もほぼ全域で仮復旧。しかし下水道が未復旧のため、風呂を入れることができず、「お風呂に入りたくない」という声が目立った。また道路端に積み上げられた大量の災害ごみはあわら市の清掃センターに搬出中だが、流木や汚泥は搬出先が決まっておらず、同町は対応を急いでいる。

市川副大臣は午前中、河川のはらんにより水田が冠水した今立町東部や、水田に土砂が流入した鯖江市河和田町を視察した。午後からは県庁で西川一誠知事から被災状況の概要や要望を受けた後、美山町内の現場を視察した。

県災害対策本部によると、県内では現在判明しているだけで、水稲約2240畝、大豆255畝、野菜・花き9・4畝が冠水したほか、水路や農道など農業施設への被害も出ている。【兵頭和行】

平成16年7月23日 朝刊

毎日 新聞



# 福井豪雨の被災地 上空ルポ

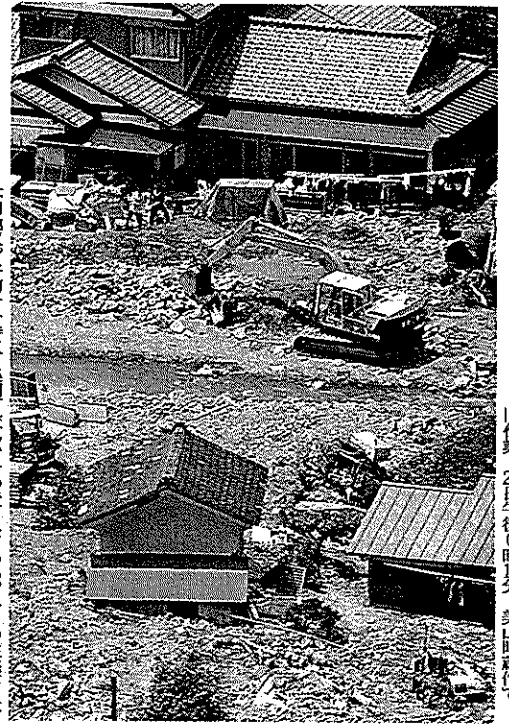
福井豪雨による県内の被災地では、5日目を迎えた22日も懸命の復旧作業が続けられた。豪雨がもたらしたつめ跡はいつになったら癒えるのか。急ピッチで復旧が進む福井、美山、池田、今立、鯖江の5市町の姿を空からルポした。

(写真・福田正美、文・畑結樹、写真はいずれも本社ヘリ「わかづる」から)



# いつ癒える 県内傷跡

作業の横で洗濯干し



1階部分が土砂に埋もれた長屋。軒先に洗濯物が干される中、急ピッチで進む復旧作業。22日午後0時17分、美山町で撮影

## 福井市

木田地区。午前十一時三十分ごろ、三日連続の終盤作業を終えた児童たちが、バス「すまいる」が走る。復旧作業のため、住居の力を取り戻しつつあるようだ。

一乗地区上空に入る。下池田地区は、足羽川ダム建設の候補地にもなっている千代谷。甚大な被害を受けた浄教寺町を経て、一乗地区からさらに上流部に進むと、山肌は土砂が流出し、何本もの、びっつき跡に、一乗地区を襲った被害の大きさを物語。

今立町。鯖江市。今立町の水田川沿いの市野々も柳でも、集落の多くの家が土砂に埋もれていた。柳は早くも、家屋を取り壊す作業が始まっていた。

午後零時三十分ごろ、壊滅的な打撃を受けた美山町へ。あちこちで橋が壊れ、濁流の中に無造作に橋げたや橋脚が転がる。道路も所々でえぐり取られて

## 山肌に土石流つめ跡

美山町、池田町。午後零時三十分ごろ、壊滅的な打撃を受けた美山町へ。あちこちで橋が壊れ、濁流の中に無造作に橋げたや橋脚が転がる。道路も所々でえぐり取られて

平成16年7月23日 福井県民新聞

# ポランテア まだ足りない

全国から4300人作業も 少しでも人手多く

県北部を襲った福井豪雨の被災地には全国からポランテアが駆けつけ、復旧作業を応援している。豪雨が四日目の二十一日は、福井市、鯖江市、美山町、今立町に入ったポランテアは約四千三百人。泥のかき出しや、使えなくなった家具の運び出しなどに力を発揮している。

川の水位が一階近くまで達した美山町西河原地区では二十一日、約百人のポランテアが泥のかき出しなどを手伝った。滋賀県水原町の地方公務員、野村浩司さん。

「被災者に遭った人は物質的、経済的なショックに加え精神的なダメージも大きいはず。少しでも力になりたい」と汗をぬぐった。地区内の商店を切り盛りする女性もいる。「ポランテアに協力して貰いたい、ありがたい。でも、元の生活に戻るのはいづいになるのか...」と泥だらけの店舗を見ながら複雑な表情。同地区内のポランテア案内所らしい「スタッフ」は「応援の人は、いくら多くても足りない」と話していた。

同町内では、二月に福井、石川県境で遭難し、必死の救助を求めた

## 半壊住宅 鯖江で61歳女性死亡

福井豪雨で大きな被害二十日に心筋梗塞(こうそく)を受けた鯖江市で豪雨にそとで死亡していた。より半壊した住宅の片付とが分かった。もとを正せば、心臓が弱かったとい

近所の人「疲れたが、出たのは」と話している。一方、同市では二十一日午後、山あいにある北中町の百二十四世帯にいた避難勧告を解除した。同市と池田町など四市町の百三十一世帯には避難指示・勧告が続いている。

# 洪水マップ間に合わず

福井豪雨で足羽川の堤防が決壊し、約一万二千戸が浸水した福井市。洪水は、河川がはんらんした場合の浸水想定区域や避難場所などを記した地図(洪水ハザードマップ)作りを取り掛かろうとする矢先に起きていたことが分かった。県内の市町村で、これまでに同マップを作っているのは敦賀市だけ。河川改修などのハード面に加え、水害へのソフト対策も遅れている現状が浮き彫りになった。

(榎原 健康)

## 01年の水防法改正で公表義務づけも

# 県内で作成、敦賀だけ

二〇〇一年の水防法改正のため、同市は本年度だけ早く作りたい」とし、センターの藤田裕一郎(敬称略)対策も重要になってい

正で、流域面積が広く、洪水からマップ作製の準備に着手した。〇五年度に防

水時に大きな損害が予想される河川を「洪水ハザードマップ」作りを取り掛かろうとする矢先に起きていたことが分かった。県内の市

町村で、これまでに同マップを作っているのは敦賀市だけ。河川改修などのハード面に加え、水害へのソフト対策も遅れている現状が浮き彫りになった。

「二〇〇一年の水防法改正のため、同市は本年度だけ早く作りたい」とし、センターの藤田裕一郎(敬称略)対策も重要になってい

正で、流域面積が広く、洪水からマップ作製の準備に着手した。〇五年度に防

水時に大きな損害が予想される河川を「洪水ハザードマップ」作りを取り掛かろうとする矢先に起きていたことが分かった。県内の市

町村で、これまでに同マップを作っているのは敦賀市だけ。河川改修などのハード面に加え、水害へのソフト対策も遅れている現状が浮き彫りになった。

「二〇〇一年の水防法改正のため、同市は本年度だけ早く作りたい」とし、センターの藤田裕一郎(敬称略)対策も重要になってい

正で、流域面積が広く、洪水からマップ作製の準備に着手した。〇五年度に防

水時に大きな損害が予想される河川を「洪水ハザードマップ」作りを取り掛かろうとする矢先に起きていたことが分かった。県内の市

町村で、これまでに同マップを作っているのは敦賀市だけ。河川改修などのハード面に加え、水害へのソフト対策も遅れている現状が浮き彫りになった。



会見で足羽川ダム的重要性などを訴え、福井市長・福井市役所

## 地域防災計画見直しへ

福井市長 足羽川ダム「必要」

福井豪雨で大きな被害を受けた福井市は、二三日、市の地域防災計画を見直し方針を明らかにした。市長は「住民への避難勧告・指示が十分に浸透しないままに、災害が発生した場合の対応などが規定されている。この日、福井市役所で開かれた市の会合で、奈良一機副市長が「住民への情報伝達手段について見直し、必要がある」と述べた。

今回の豪雨で市は、小学校や自治会長宅に設置されている同報無線や広報車などを使って周知に努めた。自治会長は無線で入った連絡を近隣世帯に伝える役割を担ってい

平成16年7月24日 朝刊  
福井県民新聞